

2012-B					
拠出金・基金の名称:		日米教育交流プログラム拠出金			
種 別		イヤーマーク      ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 日米教育委員会 (JUSEC)					
【所管官庁担当局課・室名】: 文部科学省大臣官房国際課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 ESDに関する日米教員交流プログラム及び次世代の日米関係を担う人材育成プログラムの旅費等の必要経費					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千 )	レ ー ト	ODA率 (%)
平成24年度	51,450	-	-	円建て	0
平成23年度	92,386	-	-	円建て	0
平成22年度	137,000	-	-	円建て	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 日米教育交流計画(日本におけるフルブライト交流計画)は、1949年から1979年まで全額米国経費負担により行われてきたが、1978年の福田・カーター会談において、経費を両国折半にすることが合意された。日米教育委員会は、1979年の「教育交流計画に関する日本国政府と米国合衆国政府との間の協定」に基づき、日米教育交流計画を実施するために設立された。 日米教育委員会は、設立以来、日米の学生、研究者等の交流促進に寄与している。同委員会は、日米同数の委員が対等な立場で議論することにより重要事項を決定している。平成24年度には、必要経費を見直し、真に必要な経費のみを拠出することとした。さらに、我が国の拠出金による事業は我が国政府の承認を得なければ事業を実施できないこととなっており、日本政府の意見は十分に反映されていると評価できる。					